

KIBOKO

木這子 Bulletin of the Tohoku University Library Vol.41, No.1



学内ワークスタディが活躍

附属図書館本館、医学分館では、カウンター対応、データ登録、震災関連資料整理、目録の遡及入力業務のサポートなど、さまざまな分野で30人以上の学内ワークスタディ(学部生)が活躍しています。

新入生歓迎号

Contents

表紙

学内ワークスタディが活躍

WELCOME

- ようこそ！ 東北大学附属図書館へ 2
 - ・大学の図書館ってどんなところ？
 - ・【本館】 3
 - ・【医学分館】 3
 - ・【北青葉山分館】【工学分館】【農学分館】 4

LEARNING

- 全学教育・カレントトピックス 5
 - 「大学生のレポート作成入門：図書館を活用したスタディスキル」(1セメ、火5時限目) 授業開講

SERIES

- 「ゆかりの人々」 6
 - 大学病院総括副院長・歯学研究科教授 笹野高嗣 教授
- <つながり>の一冊 6
 - 『花・死人に口なし 他7篇』文学部4年 星 佳奈

Information

- 新カント派哲学者ヴィンデルバントの直筆ノートが発見されました 7
- 新入生歓迎！ 展示会「東北大学の夏目漱石」開催 7
- EVENTS I オリエンテーションに参加しよう！ 8
- EVENTS II レポートに役立つ講習会 8
- EVENTS III International Student Concierge Week 8
 - 2016 Spring (留学生コンシェルジュウィーク春)



ようこそ！ 東北大学附属図書館へ



東北大学には、5つのキャンパスに計19の図書館・室があり、合計約400万冊の書籍を所蔵しています。これは日本の国立大学で東大、京大、九大に次ぐ4番目に多い蔵書量です。非常に恵まれているこの環境をぜひ活用してください！本を読むところ・勉強するところという従来の利用イメージに留まらず、様々なことに図書館を活用することができます。また、このコーナーで紹介する図書館は全て、学生証を持参すると利用することができますので、ぜひ訪問してみてください！



▶ 附属図書館キャラクター「はぎのすけ」ツイッターアカウントは、@hagi-no-suke

大学の図書館ってどんなところ？

こんな事ができます

- ・ 静かに一人で学習・読書
- ・ グループでのディスカッション・打ち合わせ
- ・ パソコンを使ったレポート・論文作成
- ・ 本や雑誌、データベースでの情報収集
- ・ 貸出用ノートPCの利用（本館のみ）
- ・ 無線LANの利用
- ・ 図書館に備えてほしい本を「リクエスト」
- ・ 使い方や探し方で分からないことは、図書館スタッフがサポート
- ・ 貴重書展示会の観覧

パソコンを使ってもっと便利に

- ・ 図書館にどんな本があるか検索
- ・ データベースや電子書籍・電子ジャーナルなどの利用
- ・ 貸出状況の確認、貸出期間の延長、予約
- ・ 他キャンパスや学外の図書館からの資料取寄せ申込

【本館】

川内キャンパスにある本館には、授業や学習で使う基本図書や人文社会科学系の専門書が約270万冊あります。

図書館は静かに学習・読書するだけの場所ではありません。学生同士でディスカッションをしながら学習できるスペースや、カフェなどもあります。また、貴重な蔵書の展示や、様々なイベントも行っていますので、ぜひ定期的に足を運んでみましょう。

開館時間

1号館 平日 8:00～22:00
土日祝 10:00～22:00
(試験期間は8:00～)

2号館 平日 8:45～17:00
土日祝 閉館



▶ 本館正面

メインフロア



▶ レポート・論文作成や情報探索に利用できるPC75台と、貸出用ノートPCの自動貸出ロッカー、グループディスカッションができるスペースやホワイトボードなどがあります。その他、各種カウンター、新着雑誌や視聴覚(CD、DVD)資料、グループ学習室も利用できます。

学生閲覧室1階・2階



▶ 学生用の基本図書約18万冊を利用できる閲覧室です。閲覧席も約450席あります。

グローバル学習室



▶国際交流を支援するフロアです。グループでディスカッションや、イベントを行うこともできます。留学生のための日本語や日本文化を学ぶための図書、留学したい学生向けの情報誌や語学学習資料もあります。

留学生コンシェルジュ



▶(4～7月、10～2月の13:00～17:00 ※繁忙期は10:00～17:00)
本学の留学生が、学習や生活に関する様々な相談に乗ります。母国語はもちろん、英語、日本語でも対応します。
留学生が企画するイベントやウェブサイトもぜひチェックしてください!

2号館(製本雑誌・古典資料)



▶主に学術雑誌を所蔵しています。大学院生以上であれば、4階の古典資料や狩野文庫といった貴重な資料も利用できます。

Cafe



▶1階に、Cafeがあり、軽食や息抜きを楽しむことができます。多くの留学生もディスカッションに花を咲かせているほか、たまに外国人パトラー・メイドが登場して、皆さんを楽しませることもあります。

【医学分館】

仙台市街地の北西部星陵キャンパスにある医学分館は、100年以上前の大正4(1915)年に設置された医歯学及び関連分野の専門図書館です。主に医学部、歯学部、加齢医学研究所、大学病院等に所属する学生や教職員の学習・教育・研究・医療の活動を支援しています。

40万冊以上の図書・雑誌と電子ジャーナル・データベースなどの電子資料の提供や文献の取り寄せなどのサービスを行うほか、昭和53(1978)年からは、医学・生物学系外国雑誌センター館としての指定を受け、主として国内未所蔵外国雑誌を収集し、全国の大学、研究機関に文献を提供しています。

また、学生用図書の充実と快適な学習スペースの整備にも努めており、館内検索コーナーなどに設置された50台以上のパソコンや無線LANにより、インターネットを介しての情報収集が可能のほか、個別学習ができる閲覧席も337席あり、静かな環境での学習や開放的なラウンジでのくつろぎなど各人の目的に合った過ごし方が可能です。

星陵キャンパス所属の学生は土・日・祝日も含め朝7時から夜遅く24時まで利用できますので、勉学や語らいのための一番身近な場所としてご活用ください。

開館時間 ▶ 平日 9:00～20:00
(8月、3月については、17:00まで)

星陵キャンパス所属の方
平日・土日祝日 7:00～24:00



▶明るく開放的なラウンジは、星陵キャンパスのオアシスです。



▶大型の閲覧席が利用できる広々とした1F閲覧スペース

【北青葉山分館】

北青葉山分館は、青葉山北キャンパスの理学部と薬学部の間位置しています。理学・薬学分野を中心に約24万冊の資料を所蔵しており、その内容は最先端の研究成果から近代科学の古典的資料まで様々です。

緑に囲まれた建物からは遠く太平洋や奥羽山脈を望むことができ、静かで落ち着いた環境の中で学習できます。北青葉山キャンパスの学部・に所属する方は、開館時間以外も早朝から深夜まで利用可能です。



▶1階閲覧席

授業のテキストはひとつと取り揃えていますが、購入リクエストも随時受け付けています。また、パソコンコーナーでは各種データベースの利用やレポート作成ができます。

話し合いながら学習したい方向けのグループ閲覧室もあります。各種申込や資料の取寄せには、オンラインサービス『MyLibrary』が便利です。ぜひ活用してください。

開館時間 ▶ **平日** 9:00～20:00 (春・夏・冬季休業期間は9:00～17:00)
休館日 土・日曜日・国民の祝日および振替休日、年末年始



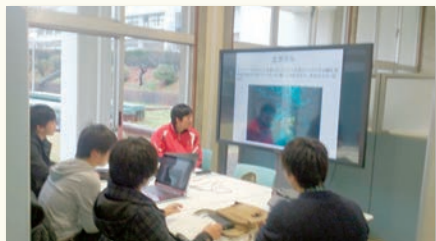
▶北青葉山分館外観

【工学分館】

工学分館は、青葉山東キャンパスの中央に位置する工学系の専門図書館で、理工系の学術資料・情報を中心に収集し、提供しています。

工学部など青葉山東キャンパスの学部・研究科等に所属する学生は開館時間外(早朝・夜間・土日祝日等)も学生証により入館することができます。

平成27年9月に、館内の一部を改修し、Active Learning Square: Abelujo (アベルーヨ) をオープンしました。自由に組み合わせ可能な机・椅子を配置したグループ学習エリアと個別ブースとTOEIC等の語学教材を配置したLanguage Studio (語学自習室) があります。



▶Abelujo グループ学習エリア
グループ討論やプレゼンの練習など、さまざまにご利用いただけます。

エントランスホールには、一般雑誌や新聞、飲食可能なスペース、気軽に使える自習スペースがあります。授業の空き時間や通学の時間調整などにご活用ください。

開館時間 ▶ **平日** 9:00～20:00 (春・夏・冬季休業期間は9:00～17:00)
☆時間外利用(無人開館)

青葉山東キャンパス所属の学生

平日 7:00～24:00 **土日祝日** 9:00～20:00
休館日 土・日曜日・国民の祝日および振替休日、年末年始



▶Language Studio (語学自習室)
ヘッドセット付きPCがあり、聴き取りや発声練習ができます。

【農学分館】

農学分館は、農学及び生命科学系の専門図書館です。農学研究科・農学部がある雨宮キャンパスの中央奥に位置し、市の中心部へ車で10分という便利な立地ながら、緑と静寂に包まれた環境の中にあります。

開館時間は平日9時から20時までとなっていますが、農学研究科・農学部所属の学生等は7時から24時までほぼ一年中利用できます。授業の合間や試験期間の学習など、気軽にご利用ください。



▶2階閲覧席

なお平成28年度後半には、青葉山新キャンパスに建設中の新図書館への移転が予定されています。ぜひ楽しみにしててください。

開館時間 ▶ **平日** 9:00～20:00 (春・夏・冬季休業期間は9:00～17:00)
休館日 土・日曜日・国民の祝日および振替休日、年末年始

※本学教職員および農学研究科・農学部の学生は上記時間以外及び休館日も7:00～24:00の間利用可能です。



▶農学分館外観



全学教育・カレントトピックス

「大学生のレポート作成入門：

図書館を活用したスタディスキル」(1セメ、火5時限目) 授業開講

大学生になると、自分の考察・意見を述べるということが必要になります。自分の考察・意見を述べる時には、ただ自分の私見を述べるのではなく、様々な文献を読み、それらの研究結果を土台にし、論拠を示しながら訴える必要があります。述べる方にも、レポート・論文といった文章で表現する場合、そして聴衆の前でプレゼンテーションをする場合があります。このように大学では、①レポート・論文を書く力、②文献を探す力、③人の前で自分の考えを論理的に説明するプレゼンテーションの力という3つの力が必要になります。

この授業では、大学生に求められる①「学術的」なレポートの作成法や、②それに欠かせない情報収集の方法の基礎、そして③プレゼンテーションの技法を身に付けることを目的としています。また、大学図書館の活用方法や、実際の研究活動と情報収集の紹介、グループで協力して文献を探索する実習もあり、レポート作成にとどまらず、広く大学での学習と研究の世界を知ることできます。ぜひ受講して今後の学習生活を充実させましょう！



▶図書館での授業<班別の成果発表>

授業内容

科目代表 西尾 剛 教授(農学研究科・附属図書館副館長)

全体統括 串本 剛 准教授(高度教養教育・学生支援機構)

- ① レポート概論(レポートの構成、作成のポイント、引用方法) …… <生命科学研究科 酒井聡樹 准教授>
- ② 大学図書館概論(大学の図書館の解説、図書・論文・新聞記事の探し方や使い方の実習)
……………<教育情報学研究部 泉山靖人 助教>
- ③ 研究における情報収集・評価 ……………<生命科学研究科 渡辺正夫 教授>
- ④ プレゼンテーション ……………<高度教養教育・学生支援機構 串本 剛 准教授>

4/12(火)
16:20に
いよいよ開講!!!

○充実の講師陣

西尾 剛 附属図書館副館長



酒井聡樹 生命科学研究科准教授



この分野の
ベストセラー!!



泉山靖人 教育情報学研究部助教



渡辺正夫 生命科学研究科教授



情報通になり
世界を目指せ!!



串本 剛 高度教養教育・学生支援機構准教授



受講生
からの声

レポート作成における酒井先生の説明が大変分かりやすかった。この授業だけでなく様々な授業に応用できた。

この授業のおかげで、論理性を持った学術的なレポートに近づけることができた。渡辺先生の講義は最高に面白かった!

データベースの利用法や、検索法を教わり、多くの情報を取得できた。この授業から多くのことを学ぶことができ、受講して本当に良かった。

SERIES

「ゆかりの人々」 大学病院総括副院長・歯学研究科教授 笹野高嗣 教授

シリーズ「ゆかりの人々」は、「東北大学ゆかりコレクション」にちなみ、本学の教職員、卒業生など、東北大学にゆかりのある方々の著書について、ご本人に様々なエピソードを含めて、ご紹介いただくコーナーです。シリーズ15回目は、本学大学病院総括副院長の笹野高嗣教授(歯学研究科)です。



おいしく食べることは、人生の大きな喜びのひとつであり、バランスのよい食事をよく噛んで食べることは、心身の健康を支える重要な営みです。そのためには、丈夫な歯と顎、そして健全な味覚が必要です。われわれの調査によると、東北大学新生の約25%に味覚障害が認められました。以外に気づかない味覚障害から、体調不良に繋がる場合も少なくありません。

そこで、「おいしく食べる」ことをテーマに「うま味」について分かりやすく書かれた楽しい本をご紹介します。

「うま味 味の再発見」

女子栄養大学出版社 1987年

「うま味」は、甘味・酸味・塩味・苦味と並ぶ基本味のひとつで、1908年に池田菊苗 東京帝国大学教授によって発見され、日本十大発明のひとつにあげられています。今日では「umami」

という用語で国際的に用いられています。この本は、栄養、食品、医療などに関連したお仕事の方や学生諸君に役立つお薦めの一冊です。(農学分館 498. 53/4)



「味覚障害に歯科医院を役立てよう」

学建書院 2014年

この本は、長年の味覚障害の治療と研究により蓄積されたエビデンスを専門書としてではなく、絵本としてまとめたユニークな本です。難しい内容を誰にでも分かるように伝えたいという願いを込めて書きました。

た。この絵本に記載されている学術的根拠は、BBCなど世界の多くのメディアも注目し報じています(参考図)。学術的内容を一般誌として広めるモデルとしても価値ある1冊と思います。(歯学部図書室 WU490/3)

▶【参考図】

この本に記載されている「うま味感覚と全身の健康維持」について、BBCなど世界11カ国83のメディアが報じた(2015年1月)。



SERIES

〈つながり〉の一冊 『花・死人に口なし 他7篇』

一番身近なエンターテインメント

文学部4年 星 佳奈

シリーズ〈つながり〉の一冊は、学生の皆さんに、感銘を受けた本や、他の学生さんにお薦めしたい本、ご自身の研究上影響を受けた本などを紹介しながら、つながっていく<リレーエッセイ>です。



『花・死人に口なし 他7篇』
本館1F学問新書波文庫
KS421/025

私が本を読んでいて楽しいと思うのは、いつのまにか自分が作品の世界へと連れ込まれていたことに気づく、その瞬間です。リビングでも教室でも、頁を捲ればどこへだって行ってしまう。読書は身近なエンターテインメントだと、しみじみ感じるものです。

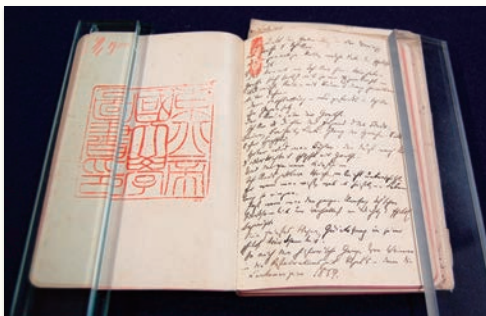
私が紹介するのは、シュニツラー作『花・死人に口なし 他7篇』です。中身は全て短篇ですが、そこに詰め込まれている世界は非常に凝縮されていて読み応えがあります。その中でもお薦めしたいのは、「死人に口なし」。あらすじを簡単に説明すれば、中流階級の女性エマが自身の不倫が露呈しそうになるという危機に直面し奮闘する物語、ということになるでしょう。筋だけを追えば、下世話な話だなあという印象でしょうか。しかし読み進めると、自分の足がその世界へとどっぷり浸かっていることに、ふと気づくはず。不意に、先程まで触れていた社会や人々との繋がりが解体されていくように感じる。目の前に危機が転がっているのに、頭の中ではとりとめのないことが浮かんで消えていく。細やかに描かれた心の描きが違和感なく入り込み、いつのまにかエマと自分が同じ目線を持って世界を見ているのです。

シュニツラーは好んで愛と死を取り上げましたが、その魅力は、読者を虚構の世界へと誘い込むことに成功した心の描写にあると言えるでしょう。「死人に口なし」を締め括るエマの感情は、今でも分かるようでよく分かりません。しかしそれも当然で、歴史や身の回りを顧みても、人間には道徳や理屈で割り切れないものの方が多いものです。綺麗に纏めようのない姿をこそ描けるのが文学の強みであり、消化不良の読後感に喰らいつくのもまた愉しみの一つであると感じています。

Information

❁ 新カント派哲学者ヴィンデルバントの直筆ノートが発見されました

平成27年に本館の地下書庫で、ドイツの哲学者ヴィルヘルム・ヴィンデルバント (Wilhelm Windelband, 1848-1915) の直筆ノート20冊が見つかりました。ヴィンデルバントは新カント派の西南ドイツ学派の中心人物として知られ、チューリヒ、フライブルク、ハイデルベルク大学等の教授をつとめました。東北大学と学術交流もあるハイデルベルク大学の図書館・史料館のご協力により、これらのノートは本人直筆であると確認することができました。奇しくもノートが発見された2015年はヴィンデルバントの没後百周年にあたる年でした。



▶ 発見されたノート



ノートの内容は、哲学、哲学史、また心理学に関する講義ノートやそのメモ、あるいは著作のドラフト(草稿)とみられます。ホルスト・グンドラハ氏 (Horst Gundlach、ハイデルベルク大学名誉教授・ヴュルツブルク大学心理学史研究センター元教授) によれば、ヴィンデルバントの遺品は第二次世界大戦の際の空襲で焼失したため、学問的な手稿などで残されているものがほとんどなく、東北大学で発見されたこれらのノートは、哲学史の研究者にとってきわめて重要な資料になるだろうということです。

なお、ヴィンデルバントと東北大学には直接のつながりがないため、なぜノートがこちらに渡ることになったのか気になるところですが、現在のところその経緯については、1926年にドイツのフォック書店を通じて135円50銭で購入されたということしかわかっていません。当時、本学の哲学研究室には、ヴィンデルバントの弟子であったオイゲン・ヘリゲルや、ハイデルベルク大学に留学していた石原謙が在籍していたなど、ハイデルベルク大との関係が深かったことや、またこの時期は、法文学部の設立初期にあたり、ドイツに留学した教員たちが大量の図書を購入していた(心理学者ヴィルヘルム・ヴントの旧蔵書、法学者エミール・ゼッケルの旧蔵書など)といった状況と何らかの関連があるのではと考えられています。

図書館では、データベース化が開始される以前に受入した図書について、順次、蔵書データベースへの入力を行っています。今回の直筆ノートは、この作業の中で見つかったものでした。書庫にはまだまだ貴重な資料が眠っているかもしれません。ぜひ探してみてください。

❁ 新入生歓迎！展示会「東北大学の夏目漱石」開催

平成28年3月25日(金)から4月25日(月)まで、エントランス展示コーナーにて新入生歓迎！展示会「東北大学の夏目漱石」を開催いたします。

新入生の皆さんは、高校の教科書などで夏目漱石の作品を読まれた方も多いことでしょう。当館では、文豪夏目漱石の書き込みのある旧蔵書を中心に、日記、ノート、試験問題、原稿・草稿などの資料を含む漱石文庫を所蔵しています。今回の展示では、これらの一部や夏目漱石について紹介しています。会場はカフェ手前の展示コーナーになります。ぜひ、足をお運びください。

本年は夏目漱石没後100周年に、来年平成29年は夏目漱石生誕150周年にあたるため、各地で様々な漱石展が行われます。当館でも、2年にわたり、4つの漱石関連展示を企画しております。詳細は随時、HPやポスターなどでお知らせしていきます。



▶ 土井晩翠宛葉書きの漱石自画像



▶ 漱石自筆の水彩画(オックスフォード大学)

Information

EVENTSⅠ オリエンテーションに参加しよう！【本館】

本館では、新入生向けに図書館活用法の説明をする「図書館オリエンテーション」と、館内ツアーを行います。申込みは不要ですので気軽にご参加ください。

図書館オリエンテーション〈各15分〉

開催日時 平成28年4月7日(木)～13日(水)
①12:10～ ②15:10～ ※平日のみ

館内ツアー：各回後30分程度で館内をご案内します。

会場 本館1階フレキシブルワークエリア



▶オリエンテーションの様子



▶館内ツアーの様子

※プレツアーとして4/1、4、5、6も館内をご案内します。ご希望の方は受付カウンターにお申し出ください。

EVENTSⅡ レポートに役立つ講習会【本館】

本館では、学習・研究に役立つ講習会「情報探索のススメ」を開催しています。4月は新入生向けに以下の内容で開催します。積極的に参加して、レポート作成に欠かせない資料探しのスキルをいち早く身につけましょう！

情報探索のススメ 入門編

開催日時・内容 ・4月25日(月)・5月10日(火) 学術情報の集め方 ・4月26日(火)・5月11日(水) 図書の探し方
・4月27日(水)・5月12日(木) 雑誌論文の探し方 ・4月28日(木)・5月13日(金) 新聞記事の探し方
※1日3回開催(①12:10～ ②15:10～ ③16:30～ 各30分)

会場 本館2階グローバル学習室

※詳しくは、図書館ウェブサイトや館内の掲示でお知らせしますので、ぜひチェックしてください。

また、レポートの書き方を一から学びたい方は、全学教育科目「大学生のレポート作成入門：図書館を活用したスタディスキル」(本誌p.5)をぜひ受講しましょう！

EVENTSⅢ International Student Concierge Week 2016 Spring 【本館】 (留学生コンシェルジュウィーク春)

平成28年4月18日(月)～22日(金)は、当館の留学生コンシェルジュによる各種イベントを開催する「留学生コンシェルジュウィーク2016春」です。新入留学生の方はもちろん、留学生と交流したい方、留学や海外文化に興味のある方も気軽にご参加ください。

内容は、多言語による図書館ガイダンス(英・中・韓・インドネシア・タイ語による説明+館内ツアー各60分)、グローバルセッション(交流イベント)です。会場は、本館2階グローバル学習室を予定しています。

※詳しくは、図書館ウェブサイトや留学生コンシェルジュのFacebookでお知らせします。



Tohoku Univ. Library
@hagi_no_suke

東北大学附属図書館のツイッター公式アカウントです。東北大学生の学習と生活のためにつばやきます。
http://twilog.org/hagi_no_suke
Sendai, Miyagi, JAPAN